

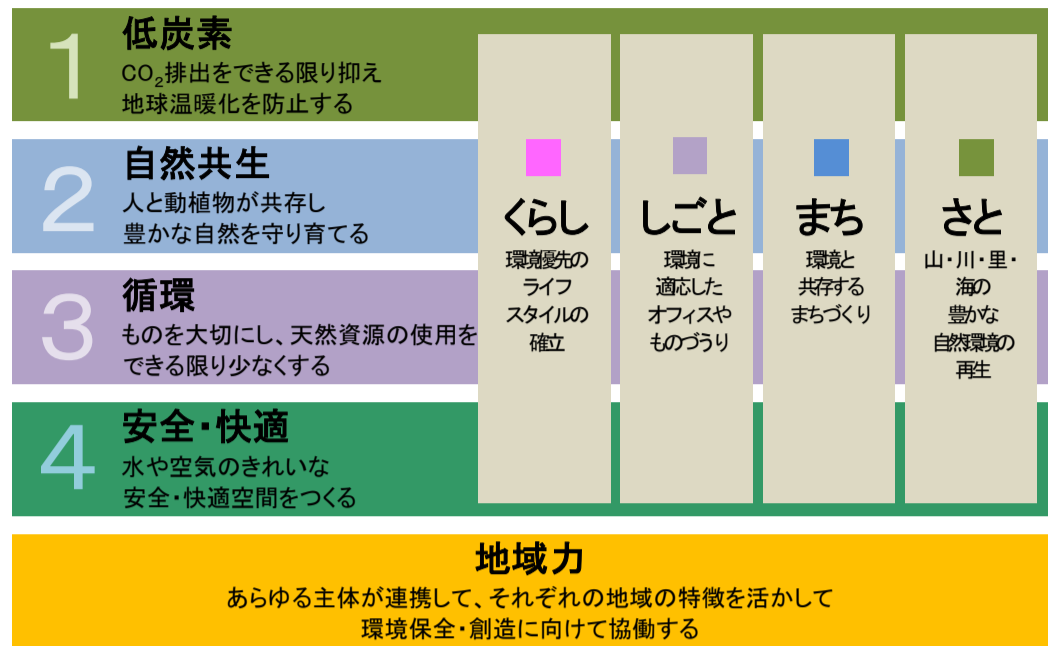
# 第4次兵庫県環境基本計画

## 1 第4次兵庫県環境基本計画

環境をめぐる情勢は、産業公害や都市生活型公害が改善に向かう一方で、地球温暖化や生物多様性などの新たな環境課題が深刻になっています。

環境課題が多様化、複雑化している中、持続可能な社会を築くためには、恵み豊かな環境を保全し、ゆとりと潤いのある美しい環境づくりに向け、目標を共有して取り組むことが必要です。

「第4次兵庫県環境基本計画」では、2040年頃を展望しつつ、おおむね今後10年間に兵庫県が取り組むべき環境の保全と創造に向けた施策の方向性を示しています。



## 2 目指すべき将来像

第4次兵庫県環境基本計画では、「くらし」「しごと」「まち」「さと」の県民の活動の場において将来像を描き、「低炭素」「自然共生」「循環」「安全・快適」の4つの視点から効果的な施策展開を図ります。

また、あらゆる主体が連携し、地域の特徴を活かして協働する「地域力」を環境づくりの基盤として位置づけ、力を合わせて“豊かで美しいひょうご”の実現に向けて取り組みます。

### <基本理念>

地域力で創る環境先導社会 “豊かで美しいひょうご” の実現

### 「くらし」の姿

- 省エネ型ライフスタイルの確立
- 再生可能エネルギーの大幅導入
- 里地・里山・里海の再生に向けた活動
- 3Rに配慮したごみの少ない生活
- 地域の美化運動の展開

### 「まち」の姿

- スマートシティの形成
- 環境にやさしい移動手段の普及
- 外来生物の駆除
- バイオマスの地産地消による地域内循環
- 水や空気のきれいな快適な生活環境



### 「しごと」の姿

- CO<sub>2</sub>排出の少ない経済のしくみ
- 再生可能エネルギーの設置促進
- 環境に配慮した農業技術の普及
- 産業廃棄物の排出抑制・リサイクルの促進
- 工場などの公害防止体制の適切な運用

### 「さと」の姿

- CO<sub>2</sub>吸収源としての森林機能の強化
- 野生動物の適切な捕獲・管理
- 山・川・里・海の自然再生
- 自然とのふれあいの場の活用
- 災害に強い森づくりなど自然災害への備え

## 3 点検・評価の見える化

第4次計画では、計画の効果的な推進のため、2018年度を当面の目標とする8つの重点目標を設定するとともに、約120項目からなる「ひょうごの環境指標」を用いて、環境の状況と課題、施策・事業の実施状況を把握し、計画の進捗状況を点検・評価し、取組の持続的改善を図ります。

### 重点目標

- 2020年度の県内温室効果ガス総排出量6%削減（2005年度比）
- 野生動物による「深刻」な農業被害を受けている集落割合をシカ3%以下、イノシシ4%以下
- 里山林整備面積30%増（2011年度比）
- 県内藻場等面積3%増（2011年度比）
- 一般廃棄物最終処分量10%削減（2011年度比）
- 産業廃棄物最終処分量32%削減（2010年度比）
- 河川・海域・湖沼における水のきれいさ（環境基準）100%達成
- 大気のかんげいさ（環境基準）100%達成